

『Disney's クリスマス・キャロル』(ディズニーズ・クリスマス・キャロル、原題: A Christmas Carol) は、2009年のアメリカ映画。原作はチャールズ・ディケンズの小説『クリスマス・キャロル』。監督はロバート・ゼメキスであり、『ポーラー・エクスプレス』、『ベオウルフ/呪われし勇者』を更に発展させたCG技術が使われる。3D版も上映される。

ストーリー

スクルージ&マーレイ商会を営んでいた初老の男スクルージは冷酷で無慈悲な人間で、彼を知る者の多くはエゴイストのスクルージを忌み嫌い、仕事仲間であったマーレイの葬儀の際にも布施を出し渋るばかりか、亡骸の臉に置かれた冥銭を持ち去るほど金に取り憑かれた男であった。

葬儀から7年後のクリスマスイブの夜、亡霊となったマーレイが彼を訪ねてきた。生前、会計事務所に箝って人生を無駄にした自分の愚かさを嘆き、犯した罪の分だけ重く長くなった鎖に囚われた自らの姿を指して、このままでは「お前も同じ運命を辿る」と忠告をしにきたのだ。そして「お前のもとに3人の精霊が現れる」と言い残して去っていく。

程なくして最初の精霊がスクルージの前に姿を現した。彼はスクルージの過去のクリスマスの精霊だと自らを名乗った。

キャスト

エベニザー・スクルージ (現在) ジム・キャリー 山寺宏一

エベニザー・スクルージ (27歳) エベニザー・スクルージ (17歳) 内山昂輝

エベニザー・スクルージ (少年時代) 柴井伶太

ピーター・クラチット ダリル・サバラ

マーサ・クラチット フェイ・マスターソン

キャロライン

クラチット夫人 レスリー・マンヴィル

ベリンダ・クラチット モリー・C・クイン

タイニー・ティムの声 ライアン・オチョア 伊澤柁樹

フェジウィッグ夫人 ジャッキー・バーンブルック

フレッドの妻 レスリー・ゼメキス

キャロラインの夫 カラム・ブルー

キャロラインの子供 レイモンド・オチョア